

総合ネットセキュリティ企業 イー・ガーディアン

**EC サイトに残る商品情報の“反映漏れ”を AI で検知する
「EC 商品情報 AI 監視ソリューション」を提供開始****～先着 5 社・3 カ月無料！ 是正依頼から反映完了の証跡保存まで、安心して商品を選べる環境づくりに貢献～**

イー・ガーディアン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高谷 康久、以下「イー・ガーディアン」）は、2026 年 10 月 29 日（木）より、複数の販売事業者や EC モールを通じて商品を販売するメーカー向けに、「EC 商品情報 AI 監視ソリューション」のベータ版の提供を開始いたします。先着 5 社を対象に、全機能を 3 カ月間無料でご利用いただけます。本ソリューションは、メーカーが変更した商品情報が各 EC サイトの販売ページに反映されているかを AI と監視センターで確認し、変更前の情報が残り続ける“反映漏れ”の検知から、販売事業者への是正依頼、反映完了の証跡の保存までを当社が担うものです。なお、本ソリューションは、2026 年 9 月 18 日（金）に発表した 5 つの AI 監視ソリューション※1のうち、メーカー領域の「商品情報反映チェック」にあたり、ベータ版での検証を経て、順次正式提供へ移行します。

※1 イー・ガーディアン「[生成 AI 時代の誹謗中傷・なりすまし・誤情報に、AI 戦略で対応](#)」（2026 年 9 月 18 日発表）

**【サービス提供の背景と狙い】****■ EC 販売の広がりにより、一つの商品の販売ページは数十から数百に**

経済産業省の調査によると、2025 年の物販系分野の BtoC-EC 市場規模は 15 兆 8,233 億円、EC 化率は 9.80% でした※2。生活家電、AV 機器、PC・周辺機器等の分野では EC 化率が 43.08% に達し、取引の 4 割以上を EC が占めています。メーカーの商品は、卸先の販売事業者がそれぞれ複数の EC モールや自社 EC サイトに出店して販売するのが一般的です。そのため、一つの商品であっても、販売ページが数十から数百にのぼることがあります。

■ 変更した商品情報が、すべての販売ページに反映されたかを確認する手段がない

生産拠点の移管や原材料の調達先の見直し・仕様の改良・価格の改定などに伴い、原産国・成分表示・使用上の注意・メーカー希望小売価格といった商品情報の変更は日常的に発生します。メーカーは変更内容を販売事業者に連絡しますが、販売ページの修正は各事業者委ねられ、反映の時期や範囲も事業者ごとに異なります。仕様の表は更新されていても、説明文や商品画像の中に変更前の記載が残るケースも少なくありません。反映されたかどうかは担当者が販売ページを一つずつ開いて確かめるほかなく、販売ページが約 250 ある商品の場合、1 ページ 3 分で確認しても、1 回の変更につき 12 時間以上を要します。修正を待って確認を繰り返す場面も多く、確認しきれないページには変更前の情報が残り続けているのが現状です。

■ “反映漏れ”は、取引先の違反リスクとメーカー自身の表示管理上のリスクに

変更前の情報が残る“反映漏れ”は、消費者の目に触れる誤った表示となり、メーカーにとって大切な取引先である販売事業者を、景品表示法などの表示規制に違反するリスクにさらします。2019 年には百貨店の EC サイトで化粧品の原産国が実際と異なって表示されていたとして、消費者庁が百貨店に景品表示法に基づく措置命令を出

しました※³。対象は 147 商品、約 8 年間にわたる表示で、掲載後に原産国が変更された際、その情報が更新されないまま残っていたことが原因の一つとされています。

リスクは取引先だけのものではありません。景品表示法では、メーカーや卸売業者など流通過程にある事業者も商品を提供する事業者に含まれ、同法第 22 条は、不当な表示を未然に防ぐための管理上の措置を講じることを求めています。メーカー自らが出店する公式ストアはもちろん、メーカーが作成・提供した商品情報がそのまま販売ページに掲載される場合には、その表示内容の決定に関与した事業者としてメーカー自身が責任を問われる可能性もあります。変更した商品情報が各販売ページに反映されているかを確認する仕組みは、この表示管理体制の一部として位置づけられます。

■ 誤表示への対応と、販売事業者への是正依頼も担当者の負担に

誤った表示をもとに購入した消費者からの問い合わせや返品対応が生じるほか、「表示と実物が違う」という不信は、販売店だけでなくブランドそのものにも向けられかねません。また、反映漏れを見つけた後も、販売事業者ごとの是正依頼・回答の確認・再度の依頼といった業務が続きます。相手が取引先であるだけに、品質保証や表示管理の担当者にとっては、工数に加えて心理的な負担も大きい業務です。

このような背景を受け、イー・ガーディアンは、25 年以上にわたる投稿監視などで培った Web ページの巡回・判定の技術と運用ノウハウに AI 技術を組み合わせ、「EC 商品情報 AI 監視ソリューション」を開発しました。

【「EC 商品情報 AI 監視ソリューション」について】

販売ページを巡回し、原産国・成分表示・価格などの商品情報を、説明文や商品画像の中の文字まで照合。“反映漏れ”が見つかった場合も、知らせるだけで終わらず、販売事業者への是正依頼から反映完了後の証跡の保存までを当社がワンストップで担います。担当者が販売ページを一つずつ開いて確かめる必要はなく、反映状況の把握や社内外への対応に注力できます。

サービスページ URL：<https://www.e-guardian.co.jp/service/ai/product-monitor/>

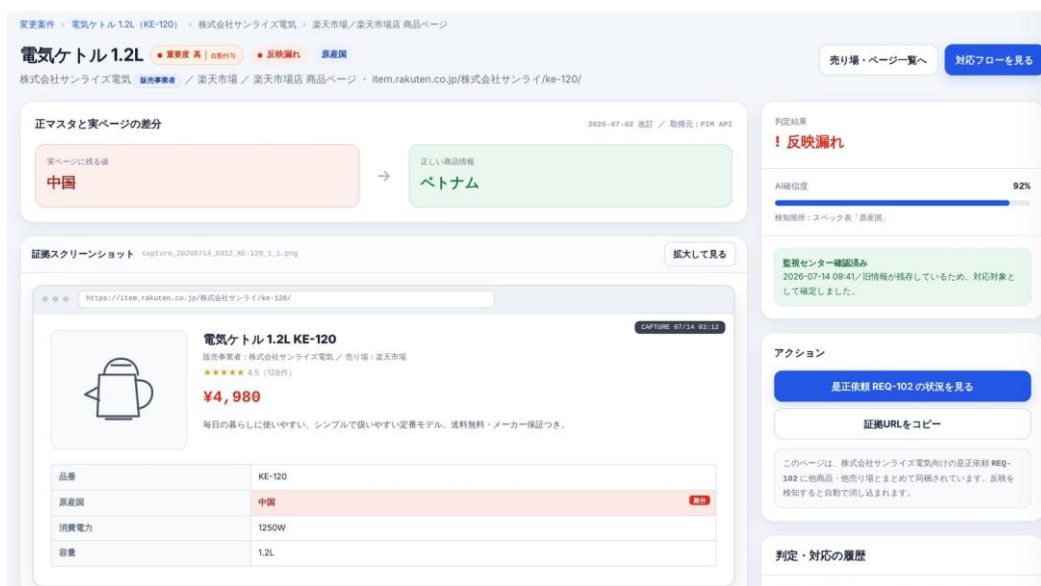
■ 4 つの特徴

1. 変更内容を登録するだけで、監視する販売ページと対応期限を自動で設定

商品情報の変更は、管理画面への入力のほか、CSV ファイル、変更連絡メールの転送、商品情報管理システム（PIM）との連携で受け付けます。変更項目に応じて重要度と対応期限が自動で設定され、監視する販売ページが台帳から割り当てられる仕組みです。販売ページの台帳は当社が整備し、新たな出店先や販売ページが見つければ随時追加。メーカーが取引を把握していない出品者による販売ページも、監視の対象に含まれます。

2. AI と監視センターが販売ページを巡回・照合し、“反映漏れ”を確定

AI が販売ページを巡回し、仕様の表や説明文、商品画像の中の文字までを正しい商品情報と照合して、変更前の記載が残るページを検知します。新旧の表記が併記されている場合や、画像・動画を含むページなど判定に迷うものは、監視センターの専門オペレーターが目視で確認したうえで確定。会員制のサイトなど自動で取得できないページは、販売事業者に掲載画面の提供を依頼して確認します。



※画面はイメージです。データはすべて架空です。

3. 販売事業者への是正依頼を当社が代行し、完了まで進捗を管理

反映漏れが確定したページは、販売事業者ごとに一つの是正依頼にまとめ、各事業者の連絡様式に合わせて依頼文を作成します。依頼には該当する販売ページと修正箇所、正しい商品情報を明記するため、販売事業者も修正すべき点をすぐに把握できます。送付から受領の確認、期限を過ぎた場合の再依頼まで当社が行い、依頼ごとの進捗を「下書き・送付済み・対応中・期限超過・完了」の段階で管理。是正依頼のうち当社が担う範囲は、メーカーとご相談のうえで決定します。複数の出品者が一つの商品ページを共有する EC モールでの修正申請の支援や、販売元が分からない出品の調査にも対応可能です。

4. 反映状況を一覧で把握し、反映完了を証跡として残す

管理画面では、進行中の変更全体の反映率や、未解消ページの内訳（反映漏れ・判定待ち・確認不能）、変更内容ごとの反映状況を確認できます。商品から販売事業者、販売ページへと順にたどれば、どこに変更前の情報が残っているかも一目で把握可能です。対象のすべての販売ページで反映を確認できた変更は「反映完了」とし、各ページの最終画面と是正の履歴を証跡として保存。月次レポートや CSV で出力でき、社内への報告や監査、問い合わせへの説明の根拠として活用いただけます。



※画面はイメージです。データはすべて架空です。



■ベータ版提供概要

提供開始日	2026 年 10 月 29 日（木）ベータ版の提供を開始 ※ベータ版での検証を経て、順次正式提供へ移行予定
対象	複数の販売事業者・EC モールを通じて商品を販売するメーカー、プライベートブランド事業者 ※家電・食品・化粧品などの消費財、電子部品・工業製品など BtoB 商材のメーカーにも対応可能
対象となる 販売ページ	楽天市場、Yahoo!ショッピング、Amazon、販売事業者の自社 EC サイトなど ※記載のないサービスもご相談に応じて対応可能
主な監視項目	原産国、成分表示、使用上の注意・警告表示、仕様・スペック、価格表示（メーカー希望 小売価格など）、パッケージ・商品画像、商品名・説明文など
主な提供内容	・ 管理画面の利用環境の提供 ・ 導入時の販売ページ台帳の整備、変更項目ごとの重要度と判定基準の設計、月次レポート ・ 販売ページの巡回・照合、反映漏れの確定、是正依頼の代行、証跡の保存
確認体制	・ AI による巡回は、変更の登録から反映完了まで原則毎日対応 ・ 専門オペレーターによる目視確認の時間帯や報告の頻度は、導入時に企業ごとに取り決め
価格	ベータ版：無料（先着 5 社、全機能、3 カ月間） 正式提供後：個別見積もり（初期費用＋月額費用） ※監視する商品数・販売ページ数、監視項目などにより、個別にお見積もりします
申込 URL	https://www.e-guardian.co.jp/inquiry/poc/ ※先着 5 社に達し次第、受付終了 ※無料期間終了後は、継続利用の有無を改めてご判断いただけます

※記載されている会社名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

【AI 戦略統括部 統括責任者 コメント】

イー・ガーディアン株式会社 AI 戦略統括部 統括責任者／シニアディレクター 山田 喬

EC で買い物をすることが当たり前になり、メーカーの商品は数多くの販売事業者を通じて流通しています。販路が広がり、事業の規模が大きくなるほど、一つの商品を扱う販売ページは際限なく増え続けるのが実情です。商品情報を一つ変えるたびに、担当者の方々はそうした販売ページを一つずつクリックして開き、変更が反映されているかを目で確かめています。対象が数百ページにのぼれば、確認だけで 1 日では終わらない作業量です。反映されていなければ販売事業者に連絡し、時間をおいてもう一度確かめる必要もあります。この繰り返しにかかる時間と手間は大きく、担当者の皆さまの負担は決して小さくありません。

私たちは、この負担をなんとか減らしたいと考え、本ソリューションを開発しました。販売ページを開いて確かめる作業は AI と当社の監視センターが引き受け、担当者の皆さまには、どこに“反映漏れ”が残り、いつ反映が完了したかという結果をお届けします。確認作業に追われていた時間を、本来の業務に充てていただけるよう支援するとともに、消費者が正しい商品情報をもとに安心して商品を選べる EC 環境の実現に貢献してまいります。

※2 経済産業省「令和 7 年度 電子商取引に関する市場調査」（2026 年 10 月 21 日発表）

※3 消費者庁による景品表示法に基づく措置命令について（2019 年 6 月 13 日発表）

【イー・ガーディアングループ 概要】

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。2022 年に東証プライム市場へ移行。イー・ガーディアンはネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一通貫で提供する総合ネットセキュリティ企業です。センターは、提携先を含めてグループで国内 8 都市海外 3 都市 18 拠点の業界最大級の体制を誇ります。昨今は Fintech・IoT 業界への参入や AI・IT 活用による DX 推進、セキュリティ関連サービスの拡充など、時代を捉えるサービス開発に従事し、インターネットの安心・安全を守っております。



■イー・ガーディアン株式会社 会社概要

代表者 : 代表取締役社長 高谷 康久

所在地 : 東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F

設立 : 1998 年 5 月

資本金 : 1,967 百万円 (2026 年 3 月末日現在)

業務内容 : ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/
オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/
コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業

URL : <https://www.e-guardian.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

イー・ガーディアン株式会社 広報担当

TEL : 0120-665-046 E-mail : info@e-guardian.co.jp

(※本ソリューションのデモンストレーションや、事業責任者への取材は、随時お受けしております)